

H	(ふりがな) 学校名 所在地 電話番号 級地	しまんとしりつなかさじちゅうがっこう 四万十市立中筋中学校 〒787-0771 四万十市有岡 1008 番地 (0880) 37-0013 なし		校長名 編成 学級数 職員数 生徒数	下谷 達也 単式3 3 8 16
	公開授業	一校時 1年【理科】 2年【英語】 3年【社会】	二校時	全学年【道徳】	
研究主題 ～副主題～	課題意識を持ち、主体的・対話的に学び合う生徒の育成 ～言語活動の充実を目指した授業づくり～				
全へき連研究 課題との関連	⑤⑥				
研究内容	<p>○研究仮説</p> <p>仮説Ⅰ 導入において、問題解決的な学習の過程を明確にし、生徒の興味関心を引く問題や教材・めあてを工夫すれば、自ら課題解決に取り組む子どもを育てることができるであろう。</p> <p>仮説Ⅱ 生徒が主体となって考えを出し合う場面において、友達の意見と比較検討して、自分の考えを整理する活動を行えば、互いに伝え合い考えを深める子どもが育つであろう。</p> <p>仮説Ⅲ 終末において、学び合ったことをまとめ、学習内容を活用する（学習を振り返る）場面を位置付ければ、学習内容が確実に定着できるであろう。</p> <p>○上記の仮説を立て、授業スタンダードの実施、小学校と連携した言語活動の充実に向けた取り組み、ユニバーサルデザインに基づく授業づくりを通して、課題意識を持ち、主体的・対話的に学び合う生徒の育成に努めている。</p>				
学校・地域の紹介	<p>○四万十市は、高知県西南部に位置し、豊富な山林資源と日本最後の清流四万十川、南東部は太平洋に面しており自然環境に恵まれている。旧中村市と旧西土佐村が平成17年4月10日に合併して誕生した。</p> <p>○本校の校区は、四万十市西端に位置し、宿毛市と隣接している。旧中村市と宿毛市の間にあり、昔は交通の要所であった。</p> <p>○地域の過疎・高齢化に伴い、生徒数は、昭和37年度の145名をピークに減少し続け、現在は16名である。生徒は、誠実で素直であり、言われたことはきちんとやり遂げるといふ長所がある。生徒会が中心となって、様々な行事を企画し、小規模校ならではの特性を活かした活動を行っている。</p> <p>○保護者や地域住民の方々は、学校教育活動に協力的で、小中合同運動会や登下校の見守り、地域清掃・廃品回収など、多大な支援をいただいている。</p>				